

CAD 応用 (土木) (Applied CAD for Civil Engineering)					
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	必修	4年後	1	講義	原 隆
【授業の概要】 CALS/ECに必要な電子図面の作成法をCAD製図基準に従って修得する。対象は、測量図、道路、鋼橋、擁壁、街路とする。					
【授業の進め方】 授業は毎回、説明の後演習形式で行う。各時間の内容について学習シートで情報交換し各単元のレポートは電子メールで提出する。					
【授業の概要】	【授業項目】	【内 容】			
1回	ガイダンス・情報倫理	講義の内容方針の説明とネットワーク利用上の注意事項の伝達			
2回	道路のCAD(1)	縦断図 学習シート(1) レポート(1)			
3回	道路のCAD(2)	横断図 学習シート(2) レポート(2)			
4回	擁壁のCAD(1)	逆T擁壁(1) 学習シート(3)			
5回	擁壁のCAD(2)	逆T擁壁(2) 学習シート(4) レポート(3)			
6回	鋼橋のCAD(1)	鋼橋外観図(1) 学習シート(5)			
7回	鋼橋のCAD(2)	鋼橋外観図(2) 学習シート(6)			
8回	中間試験	第2回～第7回の内容の確認			
9回	鋼橋のCAD(3)	鋼橋外観図(3) 学習シート(7) レポート(4)			
10回	鋼橋のCAD(4)	鋼橋横断図(1) 学習シート(8)			
11回	鋼橋のCAD(5)	鋼橋横断図(2) 学習シート(9) レポート(5)			
12回	鋼橋のCAD(6)	鋼橋平面図(1) 学習シート(10)			
13回	鋼橋のCAD(7)	鋼橋平面図(2) 学習シート(11) レポート(6)			
14回	街路のCAD	街路横断図 学習シート(12) レポート(7)			
	期末試験	CAD製図基準に従って作図ができることを確認			
15回	解答返却など	成績・授業評価・ファイルの整理			
【到達目標】	CAD製図基準に従って、CAD図面を書くことができることを目標とする。				
【徳山高专学習・教育目標】	A1	【JABEE基準1(I)】	d-1		
【評価法】	1)2回の定期試験と7回のレポートで評価する 2)学年末評価計算式 最終評価点=(後期中間試験+後期末試験)/2*0.6+(7回のレポート)/7*0.43 各試験についての評価 完全にCAD図面の作成ができる(100%) ほぼCAD図面の作成ができる(80%以上) 基本的なCAD処理ができる(70%以上) 不十分ではあるが基本的なCAD処理がほぼできる(60%以上)				
【テキスト】	国土交通省「CAD製図基準(案)」平成16年				
【関連科目】	情報処理(CA1) 情報処理(CA2) 情報処理(CA3)CAD基礎(CA4)				
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】
					学年末成績 【 】